

ムーア先生、急患です。

テロより怖い、
医療問題。

「ザ・シックス・フォー・コロムバイン」(原簿第11)

マイケル・ムーア最新作

シッコ

sicko

sicko.gyno.jp

ビョーキなアメリカにメスを入れる、世直しリアル・エンターテインメント。

02年、「ボウリング・フォー・コロムバイン」
で統社会に突撃！

04年、「華氏911」で
ブッシュ大統領に突撃！

そして、3年間の沈黙を破り
“アボなし突撃男マイケル・ムーア”
が標的にしたのは、

シッコ おか
病(s i c k o)に冒された
アメリカの医療制度!!

この映画が描き出す世界は、「病に冒されたアメリカの医療制度」の実態ですが、実は、現在の日本の医療制度が目指す方向と共通しているのです。窓口での一部負担はあるものの、健康保険証1枚あれば「誰もが、いつでも、どこでも」安心して医療を受けることができる、日本の国民皆保険制度を堅持していくためには、アメリカの医療制度の実態をよく知っておく必要があります。日本の医療制度は、ここ十数年の間にアメリカ型の市場原理主義にもとづく民営化路線に限りなく近づいています。その行き着く先を描いたのが、この映画です。日本の医療制度が目指しているアメリカ医療の実態を、あなたの目で確かめてください。

お奨めします。

千葉県医師会会長 藤森宗徳

この映画は、日本の医療のごく近い将来を暗示しています。それは5年先、いや、1年先かも知れない…。それを誰に伝えるべきか…。映画を観終わった瞬間の、私の率直な感想です。

そして、誰に伝えるべきか。それは、私どものような医療従事者ではなく、患者さんでもなく、医療とはまったく無関係な市民の皆さんではないかと考えました。

そこで、2月8日には市川市のグリーンスタジオで、2月21日には千葉市の京成ロザゼで、映写会を行うことにいたしました。会場の関係で申込み制となっておりますが、有名なマイケル・ムーア監督の作品なので、今回ご覧になれなかった方も、ビデオ等で鑑賞していただくことができるかと存じます。

いずれにしましても、この映画は、現在、崩壊の一途をたどっているとされる、日本の医療制度を本来の形に戻すためのきっかけとなるものと考えます。

この映画をご覧になれば、私どもがなぜ口角をとがらせて「国民皆保険制度を厳守しよう」という運動を進めているかが、きっとご理解いただけるはずです。